

大会会長挨拶

日本スポーツ心理学会第 48 回大会のご案内

春めいた陽気に気分一新のスイッチを入れる季節となりました。会員の皆様におかれましては、コロナ禍における新年度の多忙の中にもかかわらず、益々ご清栄のことと存じます。

本年度の第 48 回大会は、第 38 回大会以来 10 年ぶりの日本大学での開催となります。その前の開催は第 26 回大会ですので、ここ 10 年のスポーツ心理学研究の発展を確認せよとの使命を帯びているようです。古参の先生方は「お、また日大の文理学部か」、新宿が近くて便利と期待されるかもしれませんが、本年度もオンラインでの開催となります。多くの方々は、約 1 年間のオンライン業務や生活を経験し、制限や苦心とともにその利点も理解されていることと思います。ならばと、思い切ってオンラインの利点を最大化する方向で大会企画することになりました。

本年は、東日本大震災から 10 年目を迎え、延期された海外観客のいない自国オリンピック・パラリンピックが開催される年です。まだまだ続く新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ界にとって記憶に残る試練の年となるかもしれません。一方で、これらのことは運動・スポーツの意義を再確認する契機となりそうです。本年度大会が、この運動・スポーツの意義を深めるスポーツ心理学研究の公表と議論、そして学びに相応しい場になるよう準備を進めてまいります。

これまでとは少し勝手の違う発表手続きになるかもしれませんが、オンラインの利点を生かしつつ、ライブ感を重視した「オンラインで繋がるストレスフリーの大会」を目指します。大会委員会一同、心より皆様の積極的な大会参加を願っております。

第 48 回大会委員長 水落文夫（日本大学）